

学校長あいさつ

本校は「沖縄県立沖縄高等養護学校」として平成3年開校し、平成21年4月に「沖縄県立沖縄高等特別支援学校」へ改称し、今年で創立36年目を迎えます。平成29年度にはより充実した職業教育の実践を図るため、普通科から「就労技術科」に学科改変し、令和6年度には高齢化等の社会変化を踏まえ「福祉コース」を設置しております。

本校教育目標は、「生徒一人々の特性等を最大限に発揮させ、将来の職業的・社会的自立を図り、働く喜びと誇りを持ち自他ともに敬愛する心豊かな人間を目指す」であり、学校生活を通し、基礎的・基本的な知識及び技能の習得、課題解決に必要な思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度、他者と協調して生きるための基盤を養っています。

寄宿舍では、舎生一人々が基本的な生活習慣の確立及び社会自立を目標とし、自己の健康と安全の維持、協調性、自主性等を養うため、自らより良い生活環境を整え、充実した集団生活を送れるよう学部・学級、家庭との連携を図り、将来自立できる生徒の育成に取り組んでいます。

生徒の皆さん、また本校を志望する皆さんへ、本校が目指す生徒像は、健康で明るく逞しく心豊かな人、強い意志を持ち最後までやり抜く人、自分で考え自信をもって行動できる人、楽しく働き社会に貢献できる人です。皆さんは、地域における大切な人材です。日々の学びと仲間を大切に、社会貢献できる人を目指してください！

保護者の皆様、生徒たちが地域社会に貢献できる人材となるには、家庭のサポートが不可欠と考えます。子どもへの信頼、見守りと必要な支援を宜しくお願いいたします。

地域・関係機関の皆様、本校生徒は日々の学びを地域社会で活かす機会が必要です。就業体験や就労等では子供たちの未来への挑戦に是非ご支援をお願いいたします。

本校教育にご支援いただいている保護者及び関係者の皆様に感謝を申し上げますとともに、これまでの歴史を継承し新たな歴史を築くため、教職員が一つとなり教育活動に邁進する所存であります。今後とも引き続き変わらぬご支援をお願い申し上げます。

令和8年5月

沖縄県立沖縄高等特別支援学校

校長 井手 一宏